

デイサービスいさわ 第1回運営推進会議

質疑応答・評価

- Q、 近くに小学校があり子供の通行が多いので、送迎時の車両の出入りに気をつけてほしい。(地域住民代表・N様)
- A、 デイに面する道路には歩道が無く、小中学生の通学路になっていることは承知しています。子供以外にも高齢者や近くの知的障害者施設の方の通行もあるので、バックで出るときはスタッフが通行を確認するなどして対応しています。今後も引き続き十分気を付けていきたいと思います。(管理者・土橋)
- Q、 資料(事業実施状況3：機能訓練)で‘デイサービスいさわ’では言語療法もしてくれるとの事だが、通常の通所介護施設で行ってくれる所がない。(笛南包括 N様)
- A、 要望があれば利用初回と一定期間ごとに本院より言語聴覚士が来て評価を行い、それに基づいた計画の下、リハビリ(個別機能訓練)を行うことが可能です。対応する疾患は脳血管・運動器障害から神経難病、呼吸器、内科系疾患と幅広く対応できます。(管理者・土橋)
- Q、 近隣の人が利用しているかと思ったが、遠くからも利用があるのですか？(地域住民代表・N様)
- A、 甲府市以外からも利用されています。これは地域密着型に移行する前より利用されている方々です。一番遠い方で南甲府駅近隣の方がいます。実際はサービス提供のエリア外ではありますが、特別な理由があれば可能としています。また、エリア状況により石和温泉病院の通所リハを提案させて頂く場合もあります。(管理者・土橋)
- Q、 リハビリだけでも利用はできますか？(N様)
- A、 原則的対象として、介護保険の認定を受けられている方、総合事業対象者の利用に限ります。リハビリ目的で来られても、デイサービスなので一日を通して活動に参加して頂きます。しかしながら、大勢の中で一緒に過ごす事が苦手な方も多くいらっしゃいます。そういった方には訪問リハビリで対応可能ですが、デイサービスと違い一定期間の目標を立て、リハビリを終了あるいは違う形での継続としなければならない要件があります。デイサービスへ繋ぐという意味でも継続したリハビリが可能ですので、社会参加支援になると考えています。
- また、訪問リハビリを終了した人の受け皿として‘デイサービスいさわ’を立ち上げた経緯があります。今後求められていく事は、リハビリ中心の通所リハと作業や交流を中心とした通所介護の両方を兼ね揃えた施設だと思っています。ここは先行してそれを実施している施設だと考えています。(管理者・土橋)

- Q. 「これからは介護は在宅で・・・」なんて話しを聞きますが、家族介護には限界があると感じています。(地域住民代表・N様)
- A. お金がないとか家に居たいとの思いがあり「在宅で・・・」との話しもありますが、実際は家族の負担を考えると通所施設や入所施設は必要だと思う。理学療法士がいるデイサービスは少なく、通所リハだと利用初回に診断書やレントゲン等必要書類を準備するのにお金がかかったり、利用料が高かったりする。理学療法士がいて、更にレクが充実し、雰囲気の良いさを考えるとこういった所が必要です。(笛南包括 N様)
- Q. 相模原の障害者殺傷事件もあり、不審者が心配です。(地域住民代表・N様)
- A. 実はデイサービスの車両へのいたすら等、開設当初から嫌がらせがあるのは事実があります。母体である当院も把握している事柄です。立派な器物破損に値するものもありますので、今後も警察とも連携を取りながら、セキュリティの充実として監視カメラやセンサーライト等の設置を検討しています。(管理者・土橋)

利用者様代表より

家から近いのもあり家に居るような感覚で利用させて頂いています。初めてデイサービスを利用したので様子がわからなく不安でしたが、行くと職員がいつも笑顔で迎えてくれて安心できました。私が話したいと思った時にすぐに気付いて来てくれたり、色々なレクやイベントを考えてくれたりと、職員さんがよくしてくれます。家に笑顔を持ち帰ることができます。

利用者様ご家族代表より

職員も明るく雰囲気が良いと聞いています。リハビリも様々な所で受けましたが、ここは本人に合っているようで満足しています。家に帰ってくると一日の出来事を話してくれます。楽しんでいる様子が伺えます。

総評・まとめ

会議進行は管理者が担い、書記としてデイスタッフを配置し、記録・写真撮影にて会議録作成の援助を行なった。

初対面の方々同士でも会話が続くよう心がけ、終始、明るい雰囲気で笑いも交えながら開催することができた。

台風の悪天候の中での開催であったため、時間短縮を目指し、必要最低限の運営を心掛けた。

次回開催も快く引き受けて下さられた。